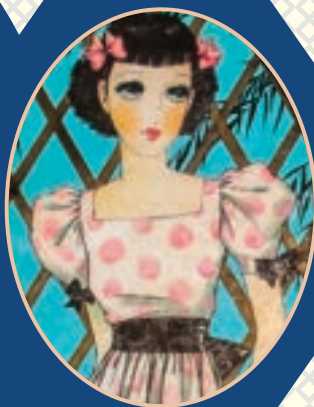




Hawaii!

ルネ・ラリックにみる 日本とフランスの “かわいい”文化交流

“かわいい”文化のパイオニアとされる竹久夢二をも
刺激したアール・ヌーヴォー、アール・デコ

巨匠ラリックの作品を
“かわいい”の
視点でとらえてみた

2026

3.20_{金祝} → 12.6_日

開館時間：9:00～16:00（美術館入館は15:30まで） 休館日：成人の日の翌日から11日間
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1 TEL:0460-84-2255

www.lalique-museum.com

【小田急ロマンスカー・電車・バスご利用の場合】

●箱根登山鉄道「箱根湯本」駅より、箱根登山バス「桃源台」行きにて約30分「仙石案内所前」下車すぐ

●新幹線・JR「小田原」駅より、箱根登山バス「桃源台」行きにて約45分「仙石案内所前」下車すぐ

●小田急ハイウェイバス「新宿」駅より約120分「箱根仙石案内所」下車すぐ

【お車をご利用の場合】

●東名御殿場ICより乙女峠経由、仙石原まで約20分

協力（五十音順、敬称略）：Coty Inc. コティジャパン合同会社、高島華青大正ロマン館、東京都庭園美術館
株式会社ひまわりや、株式会社三越伊勢丹ホールディングス、株式会社港屋、弥生美術館

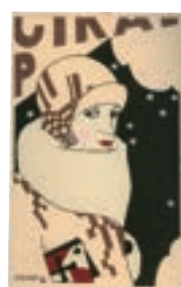


箱根ラリック美術館
LALIQUE MUSEUM, HAKONE



ルネ・ラリック ペンダント
「花を持つ少女」
1897-1898年頃

小林かいち 絵葉書「二號街の女」大正末・昭和初期
株式会社港屋蔵
展示期間 6月18(金)~9月10(木)



ルネ・ラリックにみる 日本とフランスの “かわいい”文化交流

今や日本のカルチャーを語るには欠かせない
“Kawaii(かわいい)”文化と、フランスを代表する
ジュエリーとガラス工芸の巨匠ルネ・ラリック

(1860-1945)。一見無関係に思える二つのキーワードだが、かわいい文化の歴史を辿ってみると、案外そうとも言い切れない。

ジャポニズム(日本趣味)を源泉とするアール・ヌーヴォー、それに続くアール・デコは同時代の日本でも流行する。いわば文化の逆輸入が起きたのだ。とりわけラリックとほぼ同じ時期に活躍し、かわいい文化のパイオニアとされる竹久夢二(1884-1934)の作品には、両様式からの影響が色濃く見られる。彼の創造は昭和にかけて、かわいい文化を牽引していく中原淳一(1913-1983)など多くのアーティストたちを刺激し、その作品は少女たちの日常を可愛らしく彩った。

一方、アール・ヌーヴォーとアール・デコを代表する芸術家ラリックの創作もまた、当時の日本人を魅了した。つまり、「美しいものを、より

多くの人に届けたい」と考え、一点もののジュエリーから量産可能なガラス工芸へと舵を切った彼の想いは、極東の島国にまで届いたのだ。そして多くの人の暮らしに「美」をもたらした彼の傑作の中には、現代を生きる我々の感覚からみても、かわいいものが多く見られる。本展では、当館のコレクションを“かわいい”という視点でとらえなおしてみた。

かわいい文化が花ひらき、少女たちが泡沫の夢を見た大正時代(1912-1926)が過ぎ去り、100年の年月を経た今、時代や国、価値観が違えども受け入れられるラリックの芸術を通して、フランスと日本、100年前と今の繋がりを感じていただきたい。



高島華宵 便箋表紙絵「あゆみ」
大正末・昭和初期 弥生美術館蔵
展示期間 7月30日(木)~12月6日(日)



ルネ・ラリック ブローチ
「桜と二人の少女」
1899-1901年頃



小林かいち 絵葉書
「彼女の青春」
大正末・昭和初期
株式会社港屋蔵
展示期間
3月20日(金)~6月17日(木)、
9月11日(金)~12月6日(日)

2026
3.20(金・祝)→12.6(日)

開館時間:9:00~16:00(美術館入館は15:30まで)

休館日:成人の日の翌日から11日間

※営業日および開館時間は変更の可能性あり、最新情報は公式HPをご覧ください。

入館料:大人1,500円/大・高生・シニア(65歳以上)1,300円/中学生・小学生800円
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1

TEL:0460-84-2255 www.lalique-museum.com

小田急ロマンスカー・電車・バスご利用の場合

●箱根登山鉄道「箱根湯本」駅より、箱根登山バス「桃源台」行きにて約30分「仙石案内所前」下車すぐ ●新幹線・JR「小田原」駅より、箱根登山バス「桃源台」行きにて約45分「仙石案内所前」下車すぐ ●小田急ハイウェイバス「新宿」駅より約120分「箱根仙石案内所」下車すぐ

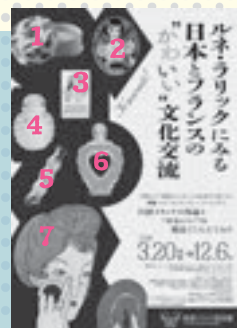
お車をご利用の場合

●東名御殿場ICより乙女峠経由、仙石原まで約20分



箱根ラリック美術館
LALIQUE MUSEUM, HAKONE

1. ルネ・ラリック(スザンヌのデザインによる)
パウダーケース「ロリガン コティ社」現行商品(オリジナルは1910年)
2. 中原淳一 便箋表紙絵「静かなる夕べ」制作年不詳
3. 広告「ジュ・ルヴィアン ウォルト社」1952年以降
4. ルネ・ラリック 香水瓶
「あなたのそばに クリティア・ビューティー・インスティテュート」1935年
5. マルク・ラリック 香水瓶「クール・ジョワ」1945年
6. マルク・ラリック 香水瓶「クール・ジョワ」1944年
7. 竹久夢二 雑誌「婦人グラフ」第1巻第6号表紙「化粧の秋」1924年



オリジナル ミネラルウォーター

好評発売中!



富士山麓の美味しいミネラルウォーターをコロンとした可愛らしいフォルムのボトルに詰めた美術館オリジナルミネラルウォーター。ルネ・ラリックの代表作(写真、左から順に)「蝶の妖精」「ダン・ラ・ニュー」「冬景色」「シルフィード」「ツバメ」「つむじ風」がそれぞれデザインされたかわいい逸品です。

美術館オリジナルミネラルウォーター 330ml 各432円(税込)